

川崎重工業株式会社

NO.2024040

2024年8月19日

## 温室効果ガス排出削減目標の国際認証「SBT」を取得

川崎重工は、2024年8月15日に当社グループの2032年度に向けた温室効果ガス削減目標について、国際的な気候変動イニシアティブである SBTi<sup>※</sup>より認証を取得しました。



SCIENCE  
BASED  
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION

当社グループは経営戦略「グループビジョン 2030」の注力フィールドの一つとしてエネルギー・環境ソリューションを掲げ、使用時に CO<sub>2</sub> を排出しない究極のクリーンエネルギーである水素のサプライチェーン全体（つくる・はこぶ・ためる・つかう）に必要な技術を世界に先駆けて開発し、カーボンニュートラルの早期実現を目指しています。

「水素」「CCUS（二酸化炭素回収・貯留）」「DAC（大気からの CO<sub>2</sub> 回収）」を中心に、自社および取引先やお客様などバリューチェーンすべてにおける製品・サービスの脱炭素化を進めています。特に、当社グループの事業活動における CO<sub>2</sub> 排出については、水素発電を軸とした自主的な取り組みにより、2030 年までの早期の排出ゼロを目指しています。今回の認証取得は、このような水素活用を中心に設定した当社グループの排出量の削減目標が評価されたものです。

当社グループは、1896年の創立以来、120年以上にわたり、陸・海・空の幅広い事業分野において、常に最先端技術に挑み、社会課題の解決に貢献してきました。今後も引き続き、「グループビジョン 2030」の推進により、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

※SBTi (Science Based Targets initiative):

CDP、国連グローバル・コンパクト、世界資源研究所 (WRI)、世界自然保護基金 (WWF) の4 団体が共同で 2015 年に設立し、科学的根拠に基づく目標設定のベストプラクティスを定義・推進し、企業の目標を独自に評価する国際的イニシアティブ。 <https://sciencebasedtargets.org/>

**<認定を受けた川崎重エグループの目標>**

目標		認証を受けた削減目標
短期目標 NEAR-TERM	Scope 1	2032 年度までに、温室効果ガス排出量を 2022 年度比で 50.4% 削減 (1.5℃水準)
	Scope 2	
	Scope 3	2032 年度までに、販売した製品の使用 (カテゴリー11) を 2022 年度比で 30%削減 (Well bellow 2℃水準)
長期目標 NET-ZERO	Scope 1, 2, 3	2049 年度までに当社グループバリューチェーン全体の 温室効果ガス排出量をネットゼロ (NET-ZERO)

SBTi によるスコープの定義: <https://sciencebasedtargets.org/faqs#what-are-the-emissions-scopes-which-scopes-do-targets-have-to-cover>

認定企業一覧: <https://sciencebasedtargets.org/companies-taking-action>

以 上